



「骨格標本の展示について」

以前、骨格標本の作製 についてお伝えしたかと思いますが。OWAに保管していたマダライルカ全身骨格とアカボウクジラの頭骨を専門業者に依頼し、洗浄・修復そして組立を行いました。約7か月の作業を終え、標本が小笠原に戻ってきました。嚴重に梱包された箱を開けると、そこには立派な姿になった標本がありました。組立前の骨格は損傷していた部位もありましたが、出来上がった標本を見ると、見事としか言いようがありません。



アカボウクジラの頭骨

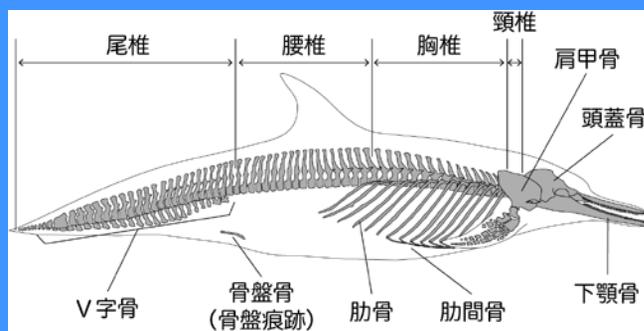


マダライルカの全身骨格

上の写真は、B1つぷ内に解説パネルとともに展示中の標本を撮影したものです。どなたでもご覧いただけますので、皆様是非お越し下さい。じっくり眺めて見ると面白い発見があるかもしれませんよ。例えば、2つの頭骨を見比べてみると、何か違いに気がつくはず。答えは展示パネルの中に!!

「鯨類の特徴的な骨」

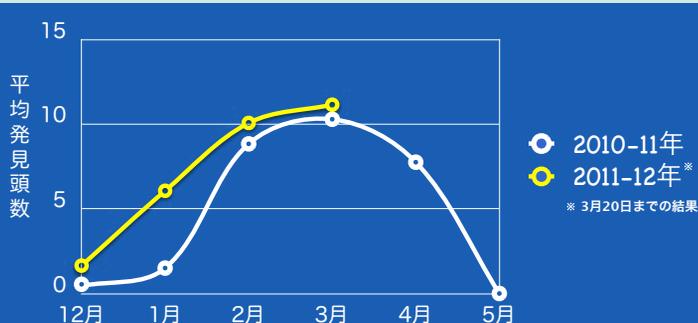
先月の1日から展示しているマダライルカとアカボウクジラの骨格標本ですが、皆さんご覧になりましたでしょうか？



マダライルカ全身骨格のそれぞれの名称

これはマダライルカの骨格の名称を示したものです。鯨類の骨は水中での浮力を得るために、脂質を多く含んでいます。人間でも見られる骨がありますが、中には聞き慣れない骨もあるかと思いますが。それが「V字骨」と呼ばれる骨です。骨格を真横からみると分からないのですが、正面から見ると、この骨がアルファベットの「V」に見えることから、V字骨と呼ばれ、尾椎の下部に付いています。鯨類は尾鰭を上下に動かして、強い推進力を生み出しているため、このV字骨が陸生哺乳類よりも発達しています。そして、恐竜にもこのV字骨を持っている種類もいたようです。まだご覧になっていない方は、V字骨を眺めに是非お越しください。

ザトウクジラ定点観測の経過報告



父島列島西側海域に回遊するザトウクジラの数の推移

上のグラフは昨シーズンと今シーズンの定点観測の結果を比較したものです。現在までは昨年よりも発見頭数が多い結果となっています。シーズン終了後に改めて12月から5月までの結果をお知らせします。

